

# 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	0272100538		
法人名	社会福祉法人 音羽会		
事業所名	グループホーム「うぐいすの里」		
所在地 (電話番号)	〒038-2712 青森県西津軽郡鰺ヶ沢町長平町字甲音羽山65の411 (電話) 0173-72-1314		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成21年10月9日	評価確定日	平成21年11月28日

## 【情報提供票より】(平成 21年 8月 31日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	(A棟・B棟)平成12年4月1日 / (C棟)平成15年11月10日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	21 人	常勤	20人, 非常勤 1人, 常勤換算 16.005人

### (2) 建物概要

建物構造	(A棟・B棟)鉄骨造り / (C棟)木造		
	1階建ての	階 ~	1階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	0 円	その他の経費(月額)	3,000 ~ 冬期6,000 円
敷金	有( 円)	(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 200 円
	または1日当たり 930 円		

### (4) 利用者の概要( 8月 31日現在)

利用者人数	27 名	男性	6 名	女性	21 名
要介護1	7 名	要介護2	10 名		
要介護3	7 名	要介護4	3 名		
要介護5	名		要支援2	名	
年齢	平均 82 歳	最低	70 歳	最高	93 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	鰺ヶ沢町立中央病院、湊谷歯科診療所
---------	-------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

共有スペースから眼下に広がる景色は海が見渡せ、裏手には岩木山がそびえ、森林に囲まれた静かな場所に事業所は建てられている。地域から離れ住民との交流が難しい場所に立地されているが、老健施設に併設されている為、医療関係者との連携体制もでき、デイケアセンターとの交流が出来る。又、運営推進会議の出席者に協力を求め事業所を理解していただくよう努力されたり、山々に囲まれている事で山菜採りをしたり、職員、利用者が同じ食事を一緒にし、買い物、ドライブ等で地域に出かける等、関わりの中から同じ時を一緒に過ごしていきたいという思いが感じられる。

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>評価の意義やねらいを全職員が理解し、外部評価の改善項目については改善策を話し合い、サービスの質の向上に努めている。運営推進会議は定期的開催され地域に意見の反映、又職員には伝達出来るように記録の整備も出来ている。災害対策については備蓄等についての改善はされているが、地域の協力体制作りと避難訓練記録を母体施設に置くだけでなく、事業所内でも整備しておく事を期待したい。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価を作成するにあたって意義、目的は各自理解している。又、外部評価の改善項目についての話し合いがもたれている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>町役場職員、老人クラブ、民生委員等の参加により定期的開催されている。会議では利用者の状況報告、意見の吸い上げを積極的に行い今後の取り組みに繋げている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>家族との信頼関係が出来ており家族の相談、意見に対し全職員で対応できる体制が出来ている。グループホームの玄関に用紙をおいて苦情を受け付ける体制は出来ているが、意見箱が母体施設に設置されている為グループホーム内にも設置する事を期待したい。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>事業所の立地条件が地域住民との交流が困難な場所であるが、学園祭、拠点館の催し物に参加したり運営推進会議を通じて町役場職員に取り次ぎをしていただいたり、町内の6事業所と交流する事で連携を図っている。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	昨年、事業所独自の理念を全職員で作成したが、地域密着型サービスとしての役割を目指した内容には至っていない。		地域密着型サービスを考え、利用者、家族、職員の意見をもう一度参考に、地域住民との交流を視野に入れた理念を作る事を期待します。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日々の実践において、掲げられている理念を共有し取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	立地上、隣近所が遠くつきあいは難しいが、運営推進会議を通し地域との交流を図り、ホームを理解していただけるように努め、参加者から意見を取り入れている。又、中学校の文化祭に参加するなどの交流も継続している。実習生を受け入れ、認知症の理解と対応について知っていただけるように努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>評価の意義について職員で話し合い、全職員が理解している。又、外部評価の結果を受けて、改善策を話し合い今後の取り組みにつなげている。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議では利用者の状況や日々の取り組みと評価について報告し、参加者から意見を引き出しサービス向上につなげるように努めている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>役場担当職員とは、自己評価、外部評価の結果を報告したり、運営推進会議以外でも折にふれて相談にのっていただき、連携を取るよう努めている。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>月に1回、地域福祉権利擁護事業に関する勉強会を行ったり、外部研修に出席した職員の復命書から勉強している。又、ホームでも権利擁護事業を利用されている方がいるので相談があった場合、適切な支援ができる体制にある。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>高齢者虐待防止についての研修へ参加し、資料をもとに職員会議で勉強したり、言葉による虐待がないかなど、職員同士がお互いに気をつけている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>ホームの見学をしていただき、計画書の説明とリスクについての説明など十分に行っている。利用者、家族の質問に答え納得した上で契約を結んでいる。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>毎月の請求書を送る時に状態報告、金銭の出し入れの報告を行い、3か月に1回は広報誌を出している。病院受診や緊急時は都度電話連絡している。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時に努めて意見を出してもらえるようにしたり、運営推進会議で意見を吸い上げるようにしている。意見を書く用紙をホーム内に置いているが、意見箱が母体施設に行かないと置いていない。</p>		<p>用紙と意見箱をセットで、グループホーム内の目のつくところに置く事を希望します。</p>
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>ユニット間の異動はあるが、別部署との異動は少ない。職員はユニットが違って、日常的に他ユニット利用者との交流を持ち、顔なじみの関係を作っているため、ダメージは少ない。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
13	17	職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員は段階に応じて、交替で外部研修に出席できる体制にある。又、研修後は報告書をもとに全職員で勉強会が行われている。		
14	18	同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	西北五のグループホーム協会に加入したり、地区のグループホーム6事業所とで3か月に一回交流会を行いながら、サービス向上へつなげる努力をしている。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	23	馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居の際に、家族、本人とも話し合い使い慣れたものを持ってきていただくように話し、座椅子、ジュータン、花などを持ち込み生活されている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	裁縫や料理の仕方を教わったり、畑作業を教えてもらったり一緒に生活しながら支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
17	30	思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者一人ひとりの言動に耳を傾け、観察しながら本人の思いや希望を把握する為に一緒に散歩に出かけたりしている。又、必要に応じて家族や関係者からも情報を収集し、検討されている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者や家族の意見を踏まえ、職員全員でセンター方式を記入し、意見やアイデアを出し合って介護計画を作成している。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3か月に一度、定期的な見直しと利用者の状態変化時や家族の要望等を聞いて、随時見直しを行っている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族の要望に応じて、期日前投票の送迎や病院受診の対応、外泊時の送迎を行っている。又、母体施設から看護師が週2回来て、健康相談やアドバイスを行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からかかりつけ医がある方は、継続して受診できるように送迎や付き添いを行っている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合母体施設への異動の事などを話し、又、終末期のあり方については、家族の要望やかかりつけ医との話し合いで方針を共有している。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録物が外部の目に触れないように目隠ししたり、失禁したときの対応を、他利用者に気づかれないように居室へ誘導したり、広報誌の写真掲載は同意書を家族からもらった方のみに行っている。又、居室に入るときはノックしてから入るようにしている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居して日が浅い方は、帰宅願望が強く屋外に出たがるので、そういう時は散歩に同行して思いがかなえられるようにしている。又、買い物に行きたいとの要望がある方はスーパーなどに出かけられるように支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>山菜の下ごしらえや、菊の花びらをとったりなどを一緒に行ったり、後片付けでできる部分は行ってもらっている。又、職員も利用者と一緒に会話をしながら食事を楽しんでいる。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>週3回デイケアセンターで午後入浴しているが、毎日入浴したい方へは、毎日の入浴も可能である。入浴を拒否される方については家族の協力を得て、声をかけてもらったり、曜日を変更するなどして対応している。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>生活歴を参考にしながら、裁縫で布巾やぞうきんを縫っていただいたり、花壇を作ったり、畑の草取り、散歩を楽しんでいる。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>スーパーへの買い物、美容院、ドライブ、リンゴ狩りなど要望に応じて外出支援を行っている。</p>		



外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全職員が身体拘束の内容やその弊害について理解しており、拘束のないケアの実践に取り組んでいる。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵をかけないケアをしている。利用者を注意深く観察し、屋外に出たいようであれば付き添うようにしている。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回避難訓練を行い、1回は消防署の方にも来ていただき行っている。又、夜間の災害を想定し、連絡方法の確認や勉強会を行っているが避難訓練記録がグループホームに整備されていない。		地域とは離れているが、訓練時に地域の人々の協力が得られるような体制作りと、避難訓練記録を母体施設に置くだけでなく、グループホーム内でも整備しておくことを希望します。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立は母体施設の栄養士が作成し、栄養バランスやカロリーに配慮されたものになっている。一日の食事や水分摂取量を把握しているので、利用者の状況によって摂取量が少ないときは記録を取り状態観察している。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症対応マニュアルを作成し、保健所や母体施設から情報があつた時はマニュアルの見直しをし、定期的に勉強会を開き職員が理解できるようにしている。		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p>					
<p><b>(1) 居心地のよい環境づくり</b></p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホールにはソファやテーブルを置いたり、畳のコーナーを作り、家庭的な雰囲気作りの努力をしている。又、テレビの音量や、季節の花を飾るなどの配慮もされている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>箆笥や衣装箱、じゅうたん、テレビなどの持ち込みもされ、個々にあった部屋作りがなされている。</p>		

 は、重点項目。